

第3学年学級活動（保健）活動案

授業日 平成30年5月29日（火）5限
指導者 MT 養護教諭 長谷川 由紀
ST 教諭 椎井 慎太郎
会場 3階マルチルーム

1 題材名 「まほうのライトを照らしてみよう」～手洗い指導～

2 本題材の価値

本題材は、学習指導要領特別活動〔学級活動〕内容（2）ウを受けて設定した。

〔学級活動〕

（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

本題材は、子どもにとって身近な衛生習慣の一つである手洗いについて学習する。

3年生の子どもは、自我が芽生え自立的に行動しようとする時期にさしかかっている。低学年の頃は大人の指示の下で行っていたことも、おざなりになることがある。手洗いも同様である。子どもは、家庭での躰や学校での指導により、外出後やトイレの後、食前には手洗いをしなければならないことを知っている。そして、手洗いをするので、かぜやインフルエンザを予防できることも知っている。しかし、給食前に手洗いをしていた子どもは学級の約30%に留まった。子ども自らが「手洗いをしよう」と考え、自立的に手洗いをするを促す指導が必要である。

手洗いをしなければいけないと分かっているにも関わらず、面倒くささが勝ったり、忘れてしまったりして手洗いをしないのは、手洗いの必要性を実感していないためだ。必要性を実感できないのは、手洗いをしないときの影響をイメージできないことにある。泥や絵の具など目に見える汚れと違い、手に付着している病原体は目に見えない。そのため、手を介して病原体が拡がり、やがては体内に入るかもしれないという影響を自分事にしてイメージすることが難しい。子どもに、手洗いをしないときの影響に気付かせ危機感をもたせることが大切である。

従来の手洗い指導でも、蛍光ローションを使用し病原体を可視化する指導が行われてきたが、洗い残しを評価するために使用されることが多かった。適切な手洗い方法を習得させることはできるが、手洗いの必要性を実感させることにはつながりにくかった。そこで、本指導では蛍光ローションを使用し、手を介して病原体が拡がることを可視化し提示する。子どもに手洗いをしないときの影響に気付かせ危機感をもたせるのだ。なぜならば、このことが子どもが手洗いの必要性を実感し、ひいては手洗いをを行う意欲を高め、自立的に手洗いをするにつなげるからである。これが本題材の価値である。

3 本時の計画（全1時間）

（1）本時のねらい

手を介して病原体が拡がることに気付き、手洗いの必要性を理解することで手洗いをを行う意欲を高める。

（2）本時の構想

まず、事前に蛍光ローションを手塗布した養護教諭が数名の子どもと握手しておく。そして、子どもたちが握手をして交流する活動を行う。その後、ブラックライトで子どもの手を照らす。するとブラックライトに反応して、手に付着した蛍光ローションが光る子どもが現れる。子どもは、「ばい菌が付いていた」などと、手にばい菌が付いていることに気付く。そこで「養護教諭の手に秘密がある」ということを説明する。すると、子どもは養護教諭と握手したということから、手を介して病原体が拡がったということに気付く。

次に、蛍光ローションが付着した手で触れた食品模型と食器をブラックライトで照らし提示する。そして、この食品を食べたらどうなるかと思うかを問う。子どもは、食品や食器を介して病原体が体内に入るかもしれないということに気付く。こうして子どもは、「手洗いをしないといろいろなところにはばい菌が移る」と手洗いをしないことの影響に気付く。「食品や食器を介してばい菌が体に入り病気になるかもしれない」という危機感をもつ。そして「やっぱり手洗いをしないとイケないんだ」と手洗いの必要性を実感する。

最後に、自分と学級のみんなが元気でいるために自分が気を付けたいことはどんなことかを問

い自己決定させる。子どもは「いつも外で遊んだあと、手洗いをするのを忘れてしまうので気を付ける」「給食当番のときに手洗いをきちんとしてないときがあったので洗い残しがないようにていねいに洗う」などと自分の生活を振り返り自己決定をする。こうして、手を介して病原体が拡がることに気付き、手洗いの必要性を理解することで手洗いを行う意欲を高める子どもに至る。

(3) 本時の展開

学習活動と子どもの姿	教師の働き掛け
<p>1 アイスクレーキングをしたあと、なぜ手洗いをするのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よーし、たくさん握手をしよう！ ・ 外から帰ったとき ・ 給食の前 ・ そうじの後とか手が汚れたとき ・ トイレのあと ・ そうそう、病気にならないようにするためだよ ・ 僕もそう思う ・ 私は「とても大切！」に○をつけた ・ ぼくは「大切」に○をつけたよ ・ うーん、30人くらい？ ・ 今日は手を洗うのを忘れちゃったな ・ じゃあ25人くらいかな？ ・ うそー、少ない ・ 私は洗ったよ！ ・ 全員洗わなきゃだめだよ ・ 忘れちゃう ・ ハンカチを持ってくるのを忘れた ・ 汚くても平気 ・ 面倒くさい ・ そんなに汚れてない ・ ちょっとはばい菌が付いていると思うけどよく分からない ・ だってばい菌は見えないから 	<p>※MTは数名の子どもに「よろしくお願ひします」と握手をする。このとき、アトピーや手荒れ、傷がある子どもには触れない。</p> <p>○ST指示「まず、アイスクレーキング『たましいで握手』をします。何人と魂が通じ合えるでしょう」</p> <p>※2～3分程度</p> <p>○MT発問「今日は長谷川先生と手洗いについて学習します。さて手洗いはどんなときにしますか」</p> <p>○MT説明「では、なぜ手を洗うのでしょうか。皆さんのアンケート結果を紹介します」</p> <p>※アンケート結果を提示、ばい菌を洗い流す、かぜや病気を防ぐ</p> <p>○MT説明「そして全員が手洗いが大切だと思っていました。すばらしい！」</p> <p>○MT発問「皆さんの給食前の手洗いの様子を見に行きました。給食前に手を洗っていた人は何人だったと思いますか」</p> <p>○MT説明「なんと35人中11人でした」</p> <p>※補助発問「多いと思いますか、少ないと思いますか」</p> <p>※補助発問「なぜ少ないと思うのですか」</p> <p>○MT発問「なぜ、手洗いをしないのでしょうか」</p> <p>※補助発問「なぜ面倒くさいのですか」</p> <p>※補助発問「ばい菌が付いていないと思う人はいますか」</p> <p>○学習課題の設定</p>
<p>学習課題：本当に手にはばい菌が付いているのかな</p>	
<p>2 まほうのライトで照らし、ばい菌が付いているか確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ え、まほうのライトってなに？ ・ ばい菌が付いてるかも 	<p>○MT説明「では、まほうのライトで照らして確かめてみましょう。ばい菌が付いていたら白く光ります」</p> <p>※班ごとにブラックライトを照らして回る</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・わあ！手が光ってる！ ・よかった，私の手は光らない。 ・なんだばい菌じゃないのか，よかった！ ・長谷川先生の手から移った？ ・なんで？ ・白く光ったのは長谷川先生と握手した人だからじゃない！ <ul style="list-style-type: none"> ・『たましいで握手』で，みんなにばい菌が移ったんだ ・握手でばい菌が移った <ul style="list-style-type: none"> ・手と手からばい菌が移る <ul style="list-style-type: none"> ・ばい菌が食べ物に付いちゃう！ ・うわー！おすしが光ってる！ <ul style="list-style-type: none"> ・病気になっちゃうよ ・ばい菌が体の中に入っちゃう ・みんなの給食にばい菌が拡がる ・みんなが病気になる 	<p>○MT説明「白くばい菌が光った人がいました。実は長谷川先生の手に秘密がありました。白く光る特別なクリームを手をこっそり塗っていました」</p> <p>○MT発問「長谷川先生と握手をしていない人も手が光りました。なぜだと思いますか」</p> <p>○MT発問「もしこれがばい菌だったらどうでしょう」</p> <p>○MT発問「ばい菌が付いた手で食べ物に触れたらどうなるでしょう」 ※MTは食品模型を手で食器に盛り付けブラックライトで照らし提示する</p> <p>○MT発問「このおすしを食べたらどうなるでしょう」</p> <p>○MT発問「もし給食当番が手洗いをせずに盛り付けをしたらどうなるでしょう」</p>
<p>3 手洗い方法を試したのち，自分やみんなの健康を守るために気を付けたいことを自己決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手を洗う！ ・よし，これできれいに洗えそうだ ・洗ってみたい！ <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんばい菌が付いている ・手からばい菌が移る ・やっぱり手洗いは大切だよ <ul style="list-style-type: none"> ・忘れずに手洗いをする ・給食当番の人は手洗いをしよう，と注意し合う ・ハンカチを持ってくる <ul style="list-style-type: none"> ・いつも外で遊んだあと，手洗いをするのを忘れてしまっていたので気を付ける ・給食当番のときに手洗いをきちんとしてないときがあったので洗い残しがないように洗う 	<p>○MT発問「ばい菌から身を守るにはどうしたらよいですか」</p> <p>○MT説明「きれいにばい菌を落とすための手洗い方法を教えます」 ※手掌，手背，指の間，指先，親指，手首の順に洗うことを確認する ※授業終了後に手洗いに行き，試してみるよう指示する</p> <p>○ST発問「今日の学習課題は「本当に手にはばい菌が付いているのかな」でした。どんなことが分かりましたか」</p> <p>○ST発問「自分もみんなも元気であるために手洗いで気を付けたいことはなんですか」 ※数名に発言させる</p> <p>○ST指示「みんなの意見を聞いて，自分もみんなも元気であるために，手洗いで自分が気を付けたいことはどんなことですか。ワークシートに書きましょう」</p>

(4) 本時の評価

- A 手洗いの必要性を理解するとともに，今までの手洗いの様子を振り返って，手洗いのタイミングや気を付けて洗いたい部位等を具体的に表現し自己決定している。
- B 手洗いの必要性を理解し，手洗いをしたいと自己決定をしている。